

SRI LANKA便り

平成19年5月7日

コロンボ日本人学校 荻田 治

ご無沙汰しております。皆様はいかがお過ごしでしょうか。



帰り道で

こちらは毎日が夏です。雨季に入っていますので時々はスコールがやってきます。先日は、珍しく1日中雨が降り、その日は道路が冠水状態になったために子ども達の下校の安全が図れないということで急遽短縮授業にしました。

わたしは、なかなか暑さに慣れず、また、歯が疼くなどしたために体調は万全というわけにはいきません。しかし、ぼちぼちと活動を開始しているところです。

7分の4の世界遺産を見る。

日本とは日にちはずれていましたが、偶然にもこちらでも5連休がありそれを利用して国内旅行をしました。

スリランカには仏教遺跡を中心に7つの世界遺産があります。4月30日～5月2日にかけて2泊3日の日程でその内の4ヶ所を見てきました。炎天下の中山登りもあり汗だくになりながら見て回りました。

写真はありませんが、仏歯寺はその名の通り仏陀の歯が祭られています。



シーギリヤロック
(この上にかつて宮殿が)

ダンブッラの石窟



ポロンナウラの遺跡



ゴルフ（4月29日）

こちらでのデビュー戦をかざりました。年4回行われる日本人会のコンペでした。当日はいつものように天気がよく、途中でリタイヤしようかと考えながらのプレーでした。その上まだ船便が届いていないので、道具をレンタルしてしました。スコアははずかしくて書くことができません。

コースは8番が終わると茶店があり、水分補給をすると最後まで回ります。コース内には池が多く、ボールが池に入ると現地人が20ルピーで取って売りにきます。そのほか鉄道線路に道路が走っています。料金はビジターでキャディーフィーを含めて5000円でお釣りがきます。グリーン上では、ボールマークなどキャディーがするのでボールに触ることがありません。

ただ、物が無くなる可能性が高いので要注意です。



キャンディアンダンス（伝統芸能）

おいしそうでしょう。

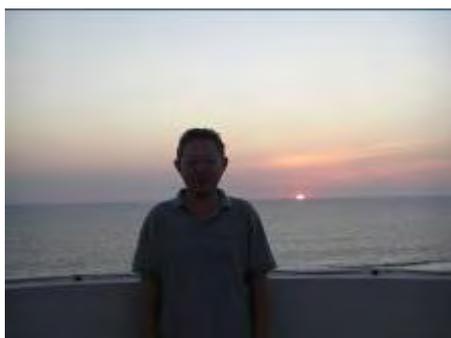
宿泊学習の下見に行った際、路上でドリアンを買って食べました。少し小ぶりですが大変甘くて匂いもそれほどではなくとてもおいしくいただきました。

果物は豊富で、すぐにパイナップル、パパイヤ、スイカ、バナナが食べれます。パイナップルは芯まで食べます。スイカはまだ甘くておいしいのに出会っていません。

食べ物やはりカレー。現地の人を利用するレストランでは100円も出せばお腹一杯になりますが、カレー。

日本食レストランもありますが、やはり割高感があります。味はますますです。

ビールは大瓶（中身）1本80円ほどです。



マンションの屋上でインド洋に沈む夕日を背に撮りました。雨季のせいかなかなかうまく写真が撮れません。

沈む直前に雲に隠れてしまうことが多いのです。部屋からも食事をしたりテレビを見たりしながらちょっと視線の向きを変えると水平線が見えています。

SRI LANKA便り

平成19年6月1日

コロンボ日本人学校 荻田 治

こんなのでいいのかな？

こちらで使う車がやっと手に入りました。私は3年落ちの中古車の良いのがあるので譲ってもらいました。価格は日本と比較するとかなり高いです。これは、国の政策の一つで売買価格を高くすることによって税金を多く徴収するためです。大使館の人がトヨタカローラを購入したときに免税価格だと160万RSほどだったそうですが、同じものを普通にかえれば3百数十万RSになるということでした。



同じ派遣の先生も新車を買う手続きをしています。結局日本からの輸入になります。ただ車体は大分前に到着しているもののなかなか話が進まずまだ届いてはいません。

私の場合も諸手続きが済むまで随分手間がかかってしまいました。

例えば前の所有者が大使館員であったため、ナンバープレートをつけ替える必要がありました。新しく番号を申請し比較的早く番号は取れたのですが、プレートそのものはなかなか出来上がりませんでした。その間ダンボール紙で作った手書きのプレートをつけて走りました。しかし、雨に当たるとすぐにダメになってしまいますし、警察にも止められ「もっとマシなのをつけなさい。」ということで業者にプラスチックの板で作ってもらったのをつけていました。今は正式な物をつけています。前は白地で後ろは黄色地です。

◆◆◆ 日本人会 ◆◆◆

ここスリランカの日本人会は活動組織がしっかりしています。

スポーツ大会や文化的な行事が計画的に行われています。

私は、赴任早々日本人会の理事になり、運動部長をしています。先日は第24回バレーボール大会が開催されました。この大会のほとんどの企画運営は、学校職員の担当者がしていますので、本当に苦労しているのはその職員達です。

今回は前回に引き続き学校を核とするチームが優勝しました。当日の参加者は選手・応援を合わせて150名近くが会場に集まりました。



次回の行事は盆踊り大会で、学校はヨーヨーつりの夜店を出すことにしています。

よく分からないコンセント

こちらの電気は、230V、50サイクルです。電圧が高いので速くお湯が沸きます。ご飯も電気釜で15分ほどで炊けます。

電気製品は、日本の物を使うには変圧器が必要です。できればこちらの物を買って使うほうが便利です。

しかし、よく分からないことがあります。我が家（ほとんどの家庭）のコンセントは全部写真①のように三叉で受け口が角張っています。しかし、ほとんどの電気製品のプラグは二又の丸型です。（写真②）です



写真③

からそのままでは使えません。必ずアダプターを取り付けて使用しています。（写真③）なぜなのでしょう。

ちなみにコンセントの右上に見えるものは、コンセントの電源スイッチです。



写真①



写真②

§§ 買っている飲料水 §§



コロombo市内では上水道（いわゆる水道）は整備されています。しかし、水道から直接飲むことには適していません。それは、水が硬水だからです。

硬水を飲むと多くの日本人は、お腹の調子を崩します。ですから、まず水道水を煮沸（しゃぶつ）します。

そうすれば、硬水が軟水になります。一度沸かしてから冷ませば飲めます。ただし、水道水のなかにさびや多少の目に見えない汚れがあることがありますから、それがいやな人は水を買って飲みます。

水はスーパーでも売っていますが、多くの家庭では大きなタンク（19ℓ）の水を買って、ディスペンサーという機械を使って飲むようにしています。これだと冷たい水も熱いお湯も飲むことができます。19ℓの水で200円ほどでしょうか。小さなボトルで買うと1.5ℓで50円ほどになり割高です。タンクは2～3個まとめて配達してもらいます。



体調を崩してはいけないと休肝日を設けているにもかかわらず、暑い一日のおしまいに飲むビールの旨さのせいなのか、こちらの人たちの体型にどんどん近づいているような気がしています。コロombo市内などで爆破テロが続いていますが、普段の生活には影響ありません。しかし、死傷者が出るのは残念なことです。

SRI LANKA便り

平成19年5月7日

コロンボ日本人学校 荻田 治

ご無沙汰しております。皆様はいかがお過ごしでしょうか。



帰り道で

こちらは毎日が夏です。雨季に入っていますので時々はスコールがやってきます。先日は、珍しく1日中雨が降り、その日は道路が冠水状態になったために子ども達の下校の安全が図れないということで急遽短縮授業にしました。

わたしは、なかなか暑さに慣れず、また、歯が疼くなどしたために体調は万全というわけにはいきません。しかし、ぼちぼちと活動を開始しているところです。

7分の4の世界遺産を見る。

日本とは日にちはずれていましたが、偶然にもこちらでも5連休がありそれを利用して国内旅行をしました。

スリランカには仏教遺跡を中心に7つの世界遺産があります。4月30日～5月2日にかけて2泊3日の日程でその内の4ヶ所を見てきました。炎天下の中山登りもあり汗だくになりながら見て回りました。

写真はありませんが、仏歯寺はその名の通り仏陀の歯が祭られています。



シーギリヤロック
(この上にかつて宮殿が)

ダンブッラの石窟



ポロンナウラの遺跡



ゴルフ（4月29日）

こちらでのデビュー戦をかざりました。年4回行われる日本人会のコンペでした。当日はいつものように天気がよく、途中でリタイヤしようかと考えながらのプレーでした。その上まだ船便が届いていないので、道具をレンタルしてしました。スコアははずかしくて書くことができません。

コースは8番が終わると茶店があり、水分補給をすると最後まで回ります。コース内には池が多く、ボールが池に入ると現地人が20ルピーで取って売りにきます。そのほか鉄道線路に道路が走っています。料金はビジターでキャディーフィーを含めて5000円でお釣りがきます。グリーン上では、ボールマークなどキャディーがするのでボールに触ることがありません。

ただ、物が無くなる可能性が高いので要注意です。



キャンディアンダンス（伝統芸能）

おいしそうでしょう。

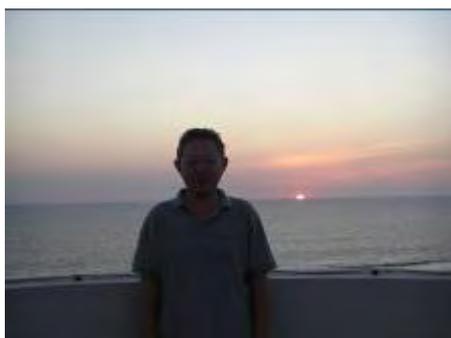
宿泊学習の下見に行った際、路上でドリアンを買って食べました。少し小ぶりですが大変甘くて匂いもそれほどではなくとてもおいしくいただきました。

果物は豊富で、すぐにパイナップル、パパイヤ、スイカ、バナナが食べれます。パイナップルは芯まで食べます。スイカはまだ甘くておいしいのに出会っていません。

食べ物やはりカレー。現地の人を利用するレストランでは100円も出せばお腹一杯になりますが、カレー。

日本食レストランもありますが、やはり割高感があります。味はますますです。

ビールは大瓶（中身）1本80円ほどです。



マンションの屋上でインド洋に沈む夕日を背に撮りました。雨季のせいかなかなかうまく写真が撮れません。

沈む直前に雲に隠れてしまうことが多いのです。部屋からも食事をしたりテレビを見たりしながらちょっと視線の向きを変えると水平線が見えています。

知らなかった日本との結びつき



元コロombo日本人学校（現真庭市立檜邑小学校）

荻田 治

2007年3月から2010年3月まで赴任したスリランカ。行く前も帰ってからも「どんな国ですか。食べ物は何を食べていますか。」という質問が多く、「紅茶と宝石の国です。」とか「毎日カレーを食べています。」と答えています。

しかし、実際には私自身がスリランカ（「S R I L A N K A」とはシンハラ語で、「聖なる光輝く島」という意味。）について知らないことがたくさんあります。特に文化や経済などにおいて日本との結びつきについてはスリランカに赴任して初めて知ったことばかりです。

スリランカといえば、昔セイロンといい紅茶の国ということくらいしか知りませんでした。滞在してみると、いろいろな機会に日本との関係を聞くことができました。その中からいくつかを短く紹介します。

まず、今日のスリランカが大変親日的であることを象徴している出来事です。

1951年、J・R・ジャヤワルダナ蔵相（後、スリランカ第2代大統領）はサンフランシスコ講和会議にセイロン代表として出席し、「日本の掲げた理想に独立を望むアジアの人々が共感を覚えたことを忘れないで欲しい」と述べ、「憎悪は憎悪によって止むことはなく、慈愛によって止む」という仏陀の言葉を引用して日本に対する賠償請求を放棄する演説を行い、日本が国際社会に復帰する道筋を作ったということです。

第2次世界大戦中、日本軍の飛行機がスリランカ東部の町を爆撃したのにもかかわらず賠償を求めませんでした。（日本軍がスリランカまで行っていたことにも驚きです。）

次に、日本が輸入している紅茶は、2006年の統計によると量では84.3%、価格で51.5%がスリランカからのものです。量では圧倒的に多いのに価格では半分ということは、スリランカの紅茶は安いものが多いということですが、その理由はおわかりでしょうか。ちなみにスリランカではもともとコーヒーを栽培していました。それが冷害のために全滅してしまい、そのあと栽培するようになりました。



毎年の日本語検定試験には1400名程度のスリランカ人が受験をしています。コロombo市内にある笹川ホールを拠点とした日ス文化協会が中心となって日本語教育に取り組むほか、2つの国立大学には日本語学科があります。また、日本語スピーチコンテストもあり、優勝者には短期日本留学が贈られます。大変日本語学習に熱心な国の一つと言えるでしょう。

家内が、台所用品に磨きをかけようと亀の子たわしを赴任荷物に入れましたが、コロombo市内でもたくさんのたわしが売られていました。日本から持ってきたものを見るとスリランカ製と書いてありました。（哑然）

日本の中古車がそのまま走っていることにも驚きます。「〇〇スイミングスクール」「〇〇温泉」などと書かれたままの車です。実にスリランカ人は、リサイクル、リユース上手です。

以上、まったく縁がないように思えたスリランカでしたが、実はそうではないのだということに気づかされた3年間でした。しかし、スリランカは、最近では内戦終結に向けた武器・資金の提供元でありインド洋に進出を狙う中国との関係が接近しています。そのため、日本との関係が薄くなってきているようにも感じます。石油の確保のためのシーレーンに位置するスリランカと日本がもっと親密になることを願っています。

